

令和7年度 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金評価結果

●保険者機能強化推進交付金

目標I 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	79.0点	64.4点	59.4点

目標II 公正・公平な給付を行う体制を構築する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	80.0点	75.2点	65.4点

目標III 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	70.0点	58.8点	46.6点

目標IV 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	40.0点	55.5点	47.8点

保険者機能強化推進交付金合計

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
400.0点	269.0点	253.9点	219.3点

●介護保険保険者努力支援交付金

目標I 介護予防／日常生活支援を推進する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	72.0点	63.2点	55.3点

目標II 認知症総合支援を推進する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	50.0点	46.9点	46.5点

目標III 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	94.0点	70.7点	66.1点

目標IV 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	40.0点	55.5点	47.8点

介護保険保険者努力支援交付金合計

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
400.0点	256.0点	235.9点	215.8点

● 総計

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
800.0点	525.0点	489.7点	435.0点

● 全体順位

	順位／全体数	(R6年度)
長崎県	6位／21団体中	19位
全国	299位／1741団体中	1285位

◎令和7年度評価結果の分析

・令和6年度の順位と比べると、全体順位が上がっている。

⇒昨年度の評価結果を見ると、本町は、結果の分析と公表という点で劣っていたため、改善を行った。

・両交付金とも、「目標IV 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む」の分野で点数が取れていない。

⇒これは、介護度の変化を見る指標で、本町全体の介護度認定率は微増であるものの、介護度1～2よりも介護度3～5が占める割合が増えており、介護度が重症化していると判断され、点数が伸びなかった。

・努力者支援交付金「目標II 認知症総合支援を推進する」の得点が低い。

⇒認知症の人やその家族の支援に関し、地域の担い手とのマッチングが不足している。

⇒難聴は認知機能の悪化に影響を与えることから、難聴高齢者の早期発見、早期介入が要介護状態の予防等に有効とされているが、対象者への受診勧奨やその受診状況についての把握までは行っていないため。